



碧南ロータリークラブ週報

第2502回例会 平成22年5月26日(水)

● 会長 鈴木 並生 ● 幹事 長田 豊治 ● 会場監督 (SAA) 新美 真司

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 岡本明弘・新美雅浩・大澤明敬・西脇博正



● 齊 唱

ロータリーソング「ロータリー讃歌」

● 本日のメニュー

季節のお弁当 とんがり帽子

● 本日のメニュー

次年度西三河分区ガバナー補佐 尾崎隆爾様

次年度西三河分区幹事 岩瀬正範様



次年度西三河分区ガバナー補佐
尾崎隆爾様

会 長 挨拶

本日は、次年度の西三河分区のガバナー補佐であります、西尾ロータリークラブの尾崎さんと分区幹事の岩瀬さんにお越し頂き、ありがとうございました。また、本日は例会終了後に次年度のためのクラブ協議会も開催され、いよいよ次年度が本格的に始まり出したのかという感じがしております。



鈴木並生会長

先週、第一生命保険から第23回のサラリーマン川柳コンクールの優秀作品の発表がありました。皆さん方も新聞やテレビ等でほとんどの方がご覧になったかと思いますが、ここで少し、ご紹介させて頂きたいと思っております。第一位になったのは、「仕分け人 妻に比べりゃ まだ甘い」、他に「先を読め！」言った先輩 リストラに」「先を読め 読めるわけない 先がない」「ただいまは 犬に言うなよ オレに言え」。サラリーマン川柳とは関係ありませんが、少し恐い川柳としてご紹介しますが、「夕暮れに 散歩進める 恐い嫁」。現実こんなことがあったら大変だなと思っております。どこの家庭でも健康のために散歩をされている方が多くなっていますが、夕暮れには死亡事故の確率が高いですので、是非、反射材を付けて頂き、しっかりと散歩をして健康になって頂ければと思っております。

とりとめもない話となりましたが、以上で挨拶とさせていただきます。

幹 事 報 告

・例会変更等は幹事報告書のとおりです。



長田豊治幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数76名(内出席免除者14名の内出席者8名)出席者64名	
出席対象者 64/69名	出席率 92.71%
欠席者12名(病欠者1名)	前々回修正出席率 98.55%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

次年度西三河分区ガバナー補佐 尾崎隆爾様、次年度西三河分区幹事 岩瀬正範様

初めて訪問させて戴きました。次年度はお世話になりますが、よろしくお願ひ致します。

長田 昌昇君 加藤良邦君、長田豊治君に気を遣っていただきました。岡本明弘君に3日長生きさせていただきました。感謝。

奥田 雪雄君 } ガバナー補佐 尾崎隆爾様、分区幹事 岩瀬正範様を歓迎致します。
新美 宗和君 }

長田 和徳君 先日、日刊工業新聞で中国工場の記事が紹介されました。

鈴木 健三君 本日卓話をさせていただきます。

卓 話

「バスは飛ばない -ブラックバスにみる環境・社会問題-」 会員 鈴木健三君

まず、今回卓話をするようになったのは同期入会のプログラム委員長の栗津康之君にぜひ担当してくれとお願いされたからです。彼はJCの後輩だし、お姉さんが同級生で断れませんでした。昔から同期入会というのには特別な感情があり、JCの同期入会が平岩辰之さん、角谷信二さんでいろいろな意味で今でもお世話になっています。今回、何を話そうか考えて仕事の歯科のことを話すのが一番楽では？

と思ったのですが、RCに歯科医が3人いるのでやりにくさを感じました。

自分の自慢できることの中でRC活動に関係することを話すべきと考えました。

一つ目は、30年ほど前、フィリピンでインチキホールインワンをしたこと。日間賀島まで船でいくときに指を骨折して趣味はグッズ集めに変更しました。今の自慢は宮里藍ちゃんの昨年使用していたドライバーのプロトタイプを手に入れたこと。

二つ目は、「オメガ シーマスター プラネットオーシャン600M、2009年度モデル、エナメル仕様NO2」「オメガスピードマスター2009年度モデル 月面着陸限定モデルNO3693」を持っていること。いろいろなパーティーに出てるが清沢聡之君と飲みに行くと必ずドンペリピンクが出るから気をつけるようになった。

三つ目は、琵琶湖で55cmのブラックバスを釣り上げたことであるが、すぐに環境問題に直面しました。

10月に名古屋で開催されるきわめて情緒的な、政治的な条約COP10 (conference of the parties 10) は生物の多様性を守ろうとする国際的な合意を目的とする会議であるが

「生物多様性保全」という言葉の意味はかなり曖昧である。

外来魚を駆除するだけで生物の多様性は本当に維持できるのだろうか？ブラックバスは河口湖では善者、琵琶湖では悪者にされるが、存在する場所が違うだけでなぜ我々人間の評価が違うのであろうか？バスはいとも簡単に移動はしないし、できないのではないか？

すなわち「バスは飛ばない！」のである。



琵琶湖 400万年の歴史を持つ古代湖 「湖のガラパゴス」
ブラックバスが最初に発見されたのは1974年 1980年がピーク
現在500トンのバスが生息し2400トンの魚を食べている
在来魚種の漁獲高は以前は例年3億円であったが現在激減の3000万円程度

河口湖 元はワカサギ釣りのメッカ 1985年ごろよりほとんど釣れなくなる
1973年頃からオオクチバスが見られた
1989年7月、山梨県知事の名のもとブラックバスを漁業権魚種として免許・認定

次回例会案内平成22年6月9日(水)

卓話「私の履歴書」

会員 小林克成君、服部弘史君